

平成28年度第4回佐久市総合計画審議会第2部会 議事録

日 時：平成28年9月14日（水）

13：30～15：20

場 所：佐久市役所3階 301会議室

【出席者】相馬部会長、佐藤千恵子委員、柳沢委員、伊坂委員、武重委員、佐藤和夫委員、中島委員 以上7名

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐（企画調整係長）、市村企画員、大井、佐藤

1 開会

2 部会長挨拶

3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

・事務局より、進行管理審議の方法について説明（資料1-1）

その後、部会において章ごとに審議（資料1-2）

第2章 質問・意見

	(p1) 高速交通ネットワーク
(委員)	高速交通ネットワークの21番「中部横断自動車道佐久南インターチェンジ-八千穂インターチェンジ（仮称）間の開通」の今後の方針に県道上小田切臼田停車場線アクセス道路と記載がありますが、実際に現場を見ていないので事業概要が分からない。
(事務局)	県道上小田切臼田停車場線アクセス道路については、事業の進捗状況等含め別途お示しさせていただきます。
(部会長)	よろしく申し上げます。他にはよろしいでしょうか。もしまた他に何かございましたら、別途ご質問いただければと思います。
	(p1) 地域交通ネットワーク
(委員)	地域交通ネットワークの26番「公共交通延べ利用者数」の今後の方針に「持続可能な効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築を

	<p>推進するとともに」と記載がありますが、佐久市の車社会の現状を踏まえると、数値的な目標を立てていただければありますけれども、達成は厳しいのではないのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>委員さんご指摘のとおり、本市は車社会であり、公共交通の利用者数は伸び悩んでいます。しかし、今後少子高齢化が進む中で公共交通の確保は重要な課題でありますことから、現在生活環境課を中心として「佐久市地域公共交通網形成計画」の策定に向けて取り組んでいるところでございます。現在、臼田や望月でデマンドタクシーを運行していますが、そういったものを出来るだけ充実させながら使いやすい形にしていきたいと考えています。今後当該計画を別途お示しする機会があると思いますが、その際にご意見をいただければありがたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>そうすると、結果の分析欄に「運行体系が同一」という記載がありますが、同一ではなくなるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>平成 29 年 10 月を目途に運行体系を現在検討しているので、今年度は同一体系ということになります。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>デマンドタクシーとは具体的にはどのようなもののでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>電話予約により、乗客の需要に応じて運行する乗合式のタクシーです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>デマンドタクシーの存在や使い方などが分かりにくい。広報などアピールをしているのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>時刻表を作成し配布しております。お年寄りの方が主に使うため、老人会などに合わせ説明に伺うなどもしております。</p> <p>今のデマンドタクシーのエリアが臼田と望月のみに限られていますので、目に触れられる機会も限られてしまうのではないかと考えられます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ターミナル的な要素は計画の中に盛り込まれるのでしょうか。佐久平駅周辺は都市機能も集積しており、ターミナルを設けることで</p>

<p>(事務局)</p>	<p>人が集まるのでは。そこから各地域にミニバスなどを集散すれば、どこへ行くのかも分かりやすくなるし、利用しやすくなるのではないのでしょうか。もう少し掘り起しをしていただきたいと思います。</p> <p>合併前は各市町村で地域巡回バスを走らせていましたが、1つの経路で1周回ると非常に時間がかかり使いにくいということがありました。そこで、先程臼田や望月におけるデマンドタクシーについて話がありましたけれども、これまでの利用状況や利用者等からの意見を踏まえ、病院、支所、スーパーなどに停留所を設定するなどターミナル的な機能を設け、運行経路を随時見直してきました。今回の公共交通の見直しに当たっても、今度は旧佐久の地域も同様な体系を構築できないかと検討しているところでございます。</p> <p>また、まちづくりという観点で、佐久平駅周辺や樋橋地区などにおいてターミナル的な拠点や人が集まるような拠点を作れないかといったことも検討しております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>バスなど現実に合った動かし方ができるといいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>デマンドタクシーは交通の安全上危険でない市街地以外で、路線上で停留所に限らず乗り降りができるようになっていきます。今後もより使いやすい公共交通の実現のため、国や県と相談をしながら進めていければと思います。</p>
<p>(p 2) 住宅・宅地</p>	
<p>(委員)</p>	<p>佐久市の公営住宅長寿命化計画には、耐震補強について記載はありますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>長寿命化を図るための計画なので記載はあります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>公営住宅の建替についても記載はあるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>建替についても記載はあります。この他に、耐震に特化した「佐久市耐震改修促進計画」もあります。今後想定される地震災害に対し、耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進することにより、市内の既存建築物の耐震性能の向上を図ることを目的とした計画です。</p>

<p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(部会長)</p>	<p>公営住宅の築年数は大体どれくらいでしょうか。</p> <p>古いものだと白山団地が昭和 44 年に建設されています。古いものは順次建替を実施していますが、人口減少の進行を踏まえ、市としての適正な量を勘案しながら進めているところです。</p> <p>それではよろしいでしょうか。今出た意見を踏まえまして進めていただければと思います。</p>
---------------------------------------	--

第 3 章 質問・意見

<p>(委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>(p 3) 農業、水産業、林業</p> <p>農業、水産業、林業の施策に共通して、担い手が育たないということが課題になっているかと思います。</p> <p>なぜ育たないかという分析をしていく必要はあると思いますが、自分の子どもに農業を継がせても、それだけで生活を成り立たせることが難しいところが問題点かと思います。</p> <p>目標の達成が「遅れている」ということをマイナスに捉えるのではなく、力を入れていくのはどこかということも考察することも大事だと思います。</p> <p>後期計画の目標値となっている認定農業者が増えていくと、その反面、地域で自分の農地を自分で守っていく、自分で農業をしていくという気持ちが薄くなってしまうということもあるのではないのでしょうか。</p> <p>前期基本計画の案でも認定農業者だけでなく、農業後継者についても確保・育成していくことを定めているところです。</p> <p>「経営としての農業」だけでなく、「暮らしとしての農業」を守っていくことも大事だと思いますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>(p 4) 商業・サービス業、観光、工業、就労・雇用</p>
--------------------------	--

(委員)	<p>「商業・サービス業」の商品販売額の「未公表」は、製造品出荷額の「集計中」と異なり、データはあるが、公表していないということなのではないでしょうか。</p>
(事務局)	<p>製造品出荷額は工業統計の調査によるもので、現在公表に向けて集計を行っているため、「集計中」としてはいますが、商品販売額は2年に1回の経済センサスの調査によるもののため、データの数値自体がありません。</p> <p>「未公表」は表現として適用ではないので、「未集計」などに記載を変えたいと思います。</p>
(委員)	<p>観光について、佐久平駅に観光客が着いてもどこに行っても良いかわからない、行くとしてもレンタカーを利用するしかないというところがあるかと思いますが、どうでしょうか。</p>
(事務局)	<p>佐久市の窓口になるような平尾山公園や佐久南交流拠点施設などで、そこから佐久市内の案内をするような観光インフォメーション機能を充実させていきたいということで前期基本計画に取組を記載しているところです。</p> <p>また、以前観光地を巡回するようなバス運行の取組を行いましたが、佐久市の観光地としての知名度があまり高くないということが課題として明らかになりました。</p> <p>観光客の多い軽井沢から佐久市に周遊観光として来ていただくことができるように、軽井沢などでのPR活動も行っているところです。</p>
(委員)	<p>ある程度の時間、観光で佐久市に滞在していただくような取組も必要ではないでしょうか。</p>
(事務局)	<p>先週開催したヒルクライム大会では、イベントに出場していただくだけでなく、佐久市内に宿泊してください、というような形で、滞在につながるような取組も行ったところです。</p>
(委員)	<p>佐久市は、県内のスノーモンキー（地獄谷野猿公苑）、白馬、軽井沢と比べるとインパクトに欠くところがあるのではないのでしょうか。</p> <p>LINEの社長や新海誠監督、油井宇宙飛行士も佐久地域の出身</p>

	<p>で、新海監督の映画でモデルとなった岐阜では、観光客も増えているとのことです。</p> <p>観光大使のような取組は他の市町村でも行っているところですが、地元出身の著名人の方を生かして、インパクトのある取組も必要ではないかと思います。</p>
--	---

(2) その他

- ・次回会議の日程について連絡

4 閉 会